

平成29年 青森県人口動態統計（概数）の概況

目 次

1 総 評	1
2 結果の要約（対前年比及び全国との比較）	4
3 出生	6
4 死亡	8
5 婚姻・離婚	14
統 計 表	16
第1表 人口動態総覧の年次推移	17
第2表 人口動態総覧（率）の年次推移	18
第3表 出生数の年次別推移、母の年齢階級（5歳階級）別	18
第4表 母の年齢階級（5歳階級）別出生数の構成割合	18
第5表 合計特殊出生率の年次推移（全国、東北6県比較）	19
第6表 主な死因別にみた死亡率（人口10万対）の年次推移	19
第7表 死亡順位別にみた死亡数の構成割合	20
第8表 主な死因別にみた年齢調整死亡率の推移	20
第9表 乳児死亡数及び死亡率の推移	21
第10表 新生児死亡数及び死亡率の推移	21
第11表 周産期死亡数及び死亡率の推移	22
第12表 死亡数・死亡率（人口10万対）の対前年比較、死因（死因分類）別.....	23

平成30年6月
青森県健康福祉部
担当：健康福祉政策課
直通：017-734-9277
代表：017-722-1111（内）6215

用語等の説明

1 用語説明

- ・自然増減：出生数から死亡数を減じたもの。
- ・乳児死亡：生後1年未満の死亡。
- ・新生児死亡：生後4週未満の死亡。
- ・早期新生児死亡：生後1週未満の死亡。
- ・死産：妊娠満12週以後の死児の出産。
- ・周産期死亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの。
- ・合計特殊出生率：15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が仮にその年次の年齢別出生率で、一生の間に生むとした時の平均子ども数に相当する。

2 率の算出方法

- (1) 出生・死亡・自然増減・婚姻及び離婚率：人口千対
(年間発生件数÷厚生労働省推計日本人人口) ×1,000
- (2) 乳児・新生児及び早期新生児死亡率：出生千対
(年間発生件数÷年間の出生数) ×1,000
- (3) 死産率（自然死産率及び人工死産率を含む。）：出産千対
{年間発生件数÷年間出産数（出生数+死産数）} ×1,000
- (4) 周産期死亡率及び妊娠満22週以後の死産率：出産千対
{年間発生件数÷年間出産数（出生数+妊娠満22週以後の死産数）} ×1,000
- (5) 死因別にみた死亡率：人口10万対
(年間発生件数÷厚生労働省推計日本人人口) ×100,000

3 率の算出に用いた人口

・平成29年

県分：総務省統計局公表の都道府県別推計日本人人口(平成29年10月1日現在)

総数	1,274,000人
男	599,000人
女	675,000人

・平成28年

県分：総務省統計局公表の都道府県別推計日本人人口(平成28年10月1日現在)

総数	1,290,000人
男	606,000人
女	683,000人

4 表章記号

- ・計数のない場合 —
- ・統計項目のありえない場合 ・
- ・計数不明又は計数を表章することが不適当な場合 …
- ・比率が微小（表章単位の2分の1未満）の場合 0.0、0.00

1 総 評

(1) 出生数は減少。合計特殊出生率は全国と同率

出生数は8,035人で、前年の8,626人より591人の減少となった。また、1人の女性が一生に産む子どもの数を表す合計特殊出生率は1.43で、前年の1.48を下回ったものの、全国(1.43)と同率となった。

死亡数は17,575人で、出生数と死亡数の差である自然増減数は△9,540人となり、自然増減は平成11年に死亡数が出生数を上回る自然減となって以来、19年連続のマイナスとなった。

【県の取組】

平成27年3月に策定した次世代育成支援行動計画「のびのびあおもり子育てプラン」及び平成28年3月に策定した「青森県子どもの貧困対策推進計画」に基づき、社会全体で結婚を支援する体制づくり、妊産婦・乳幼児から成人期に向けた保健医療対策の充実、保護者の選択による満足度の高い保育の提供の推進、様々な環境のある子どもや家庭に対する支援の充実など、結婚・妊娠・出産・子育てなどの子どもを中心に据えた各種施策を切れ目なく展開している。

- ① 結婚支援として、「結婚支援協働サポート事業」を実施し、結婚支援取組体制の構築や大学生を対象としたライフプランセミナーの実施、社会全体で結婚を応援する気運を醸成する。
- ② 妊娠・出産支援として、「特定不妊治療費助成事業」のほか、「乳幼児はつらつ育成事業」を拡充し、妊娠期からの経済的負担の軽減を図る。また、「切れ目ない親子支援充実事業」を実施し、妊娠期から切れ目のない支援体制の構築により、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを推進する。
- ③ 子育て支援として、子育て家庭の経済的負担の軽減を図る「保育料軽減事業」や病児保育をはじめとする利用者の多様なニーズに応じた満足の高い保育を推進するとともに、それを支える保育人材確保のため、保育サービス事業所認証評価制度を実施し、職員の処遇改善、人材育成及びサービスの質の向上等に取り組む事業者を支援する。
- ④ 自然減対策として各種の子育て支援対策を推進しているほか、「家庭福祉対策教育支援貸付補助事業(大学入学時奨学金)」や「保育士資格取得支援・修学資金等貸付事業」のほか、労働者の結婚から子育ての希望を実現する「働き方改革」の取組として、「あおもり働き方改革推進企業認証制度」の実施により、若者や女性の県内定着を促進する社会減対策と両輪で取り組んでおり、今後も、出生数減少に影響している出産世代の人口減少に取り組んでいく。

(2) 死亡総数は増加

死亡数は17,575人で、前年の17,309人より266人増加した。悪性新生物による死亡数は4,985人で、前年の5,034人から49人減少したが、脳血管疾患及び心疾患が増加したことから、これら3疾患による死亡数は、9,294人と、前年の9,212人から82人増加した。

また、死因別の順位では、悪性新生物、心疾患に続き、第3位が脳血管疾患、第4位が肺炎となった。これらの4つの死因で死亡数全体の6割を超えている。

【県の取組】

- ① 「早世の減少と健康寿命の延伸により全国との健康格差の縮小をめざす」ことを全体目標として、平成25年3月に策定した「健康あおもり21(第2次)」に基づき、肥満予防対策、喫煙防止対策、自殺予防対策を重点課題とし、県民のヘルスリテラシー(健やか力)の向上、ライフステージに応じた生活習慣の改善、生活習慣病の発症予防と重症化予防、県民の健康を支え、守るための社会環境の整備に取り組んでいる。
ア 平成30年度は、従業員の健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践する「健康経営®」(*)に取り組む事業所を認定する「青森県健康経営認定制度」の取組を一層強化するため、制

度内容について周知する青森県健康経営セミナーの開催、認定要件の一つとして事業所に設置を求めている「健康づくり担当者」の養成及びフォローアップを、県医師会に委託して実施することとしている。

また、協会けんぽ青森支部との協働により、高血圧の未治療者等が多い事業所に医師等をアドバイザーとして派遣し健康教育を実施し、その取組効果について県全体の職域に普及することとしている。

さらに、第一次産業就業者の死亡率が他産業よりも高いことから、組合員の健康づくりに取り組む農業協同組合、漁業協同組合を支援し、その成功事例を広く普及することとしている。

(*)「健康経営®」：特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標

イ 糖尿病対策については、糖尿病に関する正しい知識を県民に浸透させるため、県職員で構成される「高血糖ストッパーズ」が全県的なキャンペーンを行うとともに、糖尿病専門医によるかかりつけ医研修会を、県医師会に委託して実施することとしている。

また、スーパーマーケット等の民間企業との協働により生活習慣病予防の新たな普及啓発の環境を整備することとしている。

② 死因の第1位を占めるがんについては、平成30年3月に第三期青森県がん対策推進計画に策定し、「がん患者を含めた県民が、がんを知り、がんの克服を目指す社会」の実現をめざし、

ア 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

イ 患者本位のがん医療の実現

ウ 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

に取り組んでいくこととしている。

平成30年度は、「がん総合対策事業」として、女性の検診機会増加のための「女性のためのがん検診広域化モデル事業」、がん検診の精度を向上させるための「地域連携によるがん検診精度管理向上事業」や、がん経験者（ピア・サポーター）が患者や家族の相談支援に当たるための「がん相談支援推進事業」を行うこととしている。

(3) 乳児・新生児・周産期死亡率は、単年ではいずれも上昇したが、5年単位では改善傾向

乳児死亡率は、2.2で前年を0.1、新生児死亡率は、1.6で前年を0.7、周産期死亡率は、4.0で前年を1.0それぞれ上回るなど、前年との比較では各死亡率の上昇が見られた。

これらの死亡率は、1年単位での死亡数が少ないため、数名の死亡数の増減で大きく変動することから、5年単位で比較しており、乳児死亡率は平成20～24年の2.54から平成25～29年の2.01、新生児死亡率は平成20～24年の1.31から平成25～29年の1.13、周産期死亡率は平成20～24年の4.31から平成25～29年の3.50といずれも改善している。

【県の取組】

- ① 乳児死亡、周産期死亡等の改善を図るため、青森県立中央病院総合周産期母子医療センターを中心とした「青森県周産期医療システム」により、医療機関相互の連携及び役割分担を明確化しているほか、「青森県妊産婦情報共有システム」及び「未熟児等情報共有システム」により、地域保健と医療機関の連携、妊婦の健康管理の徹底、未熟児の養育に関する保健指導等により、医学的リスク等の早期発見や妊娠期からの児童虐待予防に努めてきた。
- ② 平成25年度には、総合周産期母子医療センターのNICU（新生児集中治療室）病床を12床から15床に増床するなど、ハイリスク分娩に対応する体制の更なる整備に取り組んできた。
- ③ 遠隔地から総合周産期母子医療センターを利用する患者・家族のため平成24年7月に県立中央病院そばに待機宿泊施設（ファミリーハウスあおもり）を開設し、利便性向上と負担軽減を図っている。
- ④ 加えて、平成28年度から、総合周産期母子医療センター及び地域周産期母子医療センターから遠方にあるハイリスク妊産婦等が早期から安心して治療を受けられるよう、ハイリスク妊産婦等に対する交通費等の支援を行う市町村に対する補助事業を実施し、妊産婦の不安解消と周産期死亡率

の一層の低下に努めている。

- ⑤ また、市町村子育て世代包括支援センターの設置を支援し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援の充実を図る。

(4) 自殺者数は減少し、過去最多の平成 15 年以降では最少

自殺による死亡者数は 265 人で、前年の 271 人を 6 人下回り、過去最多だった平成 15 年以降では最も少なくなった。人口 10 万人当たりの自殺による死亡率は 20.8 で、前年の 21.0 を 0.2 ポイント下回った。全国における順位は前年の 5 位から 3 位となった。

自殺による死亡者数が最多であった平成 15 年の 576 人と比べると半減以下となり、なかでも 40～64 歳男性が大幅に改善し、最多であった平成 15 年の 276 人から 78 人にまで減少している。

【県の取組】

- ① 平成 13 年度から、「健康あおもり 21」において自殺を重点施策と位置付け、県民に対する正しい知識や理解の普及啓発、相談体制の充実・強化、年代やリスク要因に応じた支援等を体系化し実施してきた。
- ア 県民向けの自殺予防デーフォーラム開催による普及啓発、「こころの相談窓口ネットワーク」電話番号一覧表の配布等による相談窓口の周知、「生活と健康をつなぐ法律相談」によるワンストップ型の相談事業等の実施。
- イ 医師、看護師、歯科医師、薬剤師、教職員等を対象としたゲートキーパーの育成や、高齢者うつスクリーニングの導入促進、自殺未遂者支援体制の構築等のハイリスク者支援の実施。
- ② 平成 29 年度に自殺対策基本法第 13 条に定める県の自殺対策計画として「いのち支える青森県自殺対策計画」を策定し、平成 30 年度から、計画に基づく総合的な自殺対策を推進することとしている。
- ア 詳細な現状分析に基づいた戦略的な取組を全県で総合的に推進するため、市町村自殺対策計画の策定支援を強化する。
- イ 自殺者数の減少に向けて、ハイリスク層（高齢者、壮年期男性、自殺未遂者）ごとのリスク要因に着目した効果的な支援を行う。
- ウ 子ども・若者対策として、若年層がコミュニケーションの手段として身近に利用している SNS を活用した情報発信とトーク機能による相談受付を実施するほか、児童・生徒に対する SOS の出し方教育の普及に向けて、学校におけるモデル指導案・教材を作成する。

2 結果の要約（対前年比及び全国との比較）

（1）出生数は「減少」

本県の出生数は8,035人で、前年の8,626人より591人減少した。出生率（人口千対）は6.3で、前年の6.7を0.4ポイント下回った。また、全国の7.6を1.3ポイント下回り、全国順位は46位（前年43位）であった。

また本県の合計特殊出生率は1.43で、前年の1.48を0.05ポイント下回った。全国の1.43と同率であり、全国順位は36位（前年30位）であった。

（2）死亡数は「増加」

本県の死亡数は17,575人で、前年の17,309人より266人増加した。死亡率（人口千対）は13.8で、前年の13.4を0.4ポイント上回った。また、全国の10.8を3.0ポイント上回り、全国順位は5位（前年6位）であった。

（3）乳児死亡数は「同数」

本県の乳児死亡数は18人で、前年の18人と同数となった。乳児死亡率（出生千対）は2.2で、前年の2.1を0.1ポイント上回った。また、全国の1.9を0.3ポイント上回り、全国順位は11位（前年19位）であった。なお、対象数が少ないため実数1件当たりの影響が大きいことから、5年単位で比較すると、平成20～24年の2.54から平成25～29年の2.01と改善している。

（4）新生児死亡数は「増加」

本県の新生児死亡数は13人で、前年の8人より5人増加した。新生児死亡率（出生千対）は1.6で、前年の0.9を0.7ポイント上回った。また、全国の0.9を0.7ポイント上回った。なお、対象数が少ないため実数1件当たりの影響が大きいことから、5年単位で比較すると、平成20～24年の1.31から平成25～29年の1.13と改善している。

（5）自然増減数は減少幅が「拡大」

本県の自然増減数は△9,540人で、前年の△8,683人より857人減少幅が拡大し、自然増減率（人口千対）は△7.5で前年の△6.7を0.8ポイント下回り、19年連続のマイナスとなった。

（6）死産数は「減少」

本県の死産数は173胎（自然死産81胎、人工死産92胎）で、前年の183胎（同81胎、同102胎）より10胎（同増減0、同10胎減）減少した。死産率（出産（出生＋死産）千対）は21.1で、前年の20.8を0.3ポイント上回った。また、全国の21.1と同率となった。

（7）周産期死亡数は「増加」

本県の周産期死亡数は32件（妊娠満22週以後の死産21胎、早期新生児死亡11人）で、前年の26件（同20胎、同6人）より6件（同1胎増、同5人増）増加した。周産期死亡率（出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対）は4.0で、前年の3.0を1.0ポイント上回った。また、全国の3.5を0.5ポイント上回り、全国順位は9位（前年39位）であった。なお、対象数が少ないため実数1件当たりの影響が大きいことから、5年単位で比較すると、平成20～24年の4.31から平成25～29年の3.50と改善している。

（8）婚姻数は「減少」

本県の婚姻件数は5,122組で、前年の5,135組より13組減少した。婚姻率（人口千対）は4.0で、前年の4.0と同率であった。また、全国の4.9を0.9ポイント下回り、全国順位は40位（前年44位）であった。

（9）離婚数は「減少」

本県の離婚件数は2,092組で、前年の2,164組より72組減少した。離婚率（人口千対）は1.64で、前年の1.68を0.04ポイント下回った。また、全国の1.70を0.06ポイント下回り、全国順位は26位（前年22位）であった。

表1 人口動態総覧

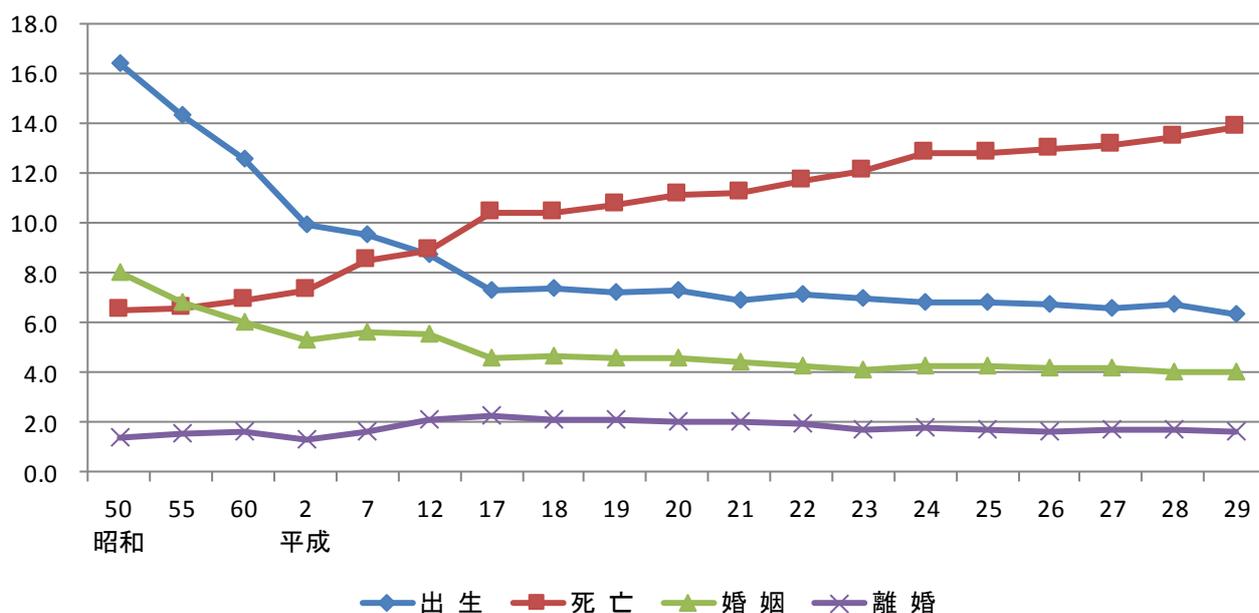
区分	青森県						全国		
	実数			率			率		
	平成29年	平成28年	対前年比	平成29年	平成28年	対前年比	平成29年	平成28年	対前年比
出生	8,035	8,626	△ 591	6.3	6.7	△ 0.4	7.6	7.8	△ 0.2
死亡	17,575	17,309	266	13.8	13.4	0.4	10.8	10.5	0.3
乳児死亡	18	18	0	2.2	2.1	0.1	1.9	2.0	△ 0.1
5年単位	87 (H25~H29)	122 (H20~H24)	△ 35	2.01 (H25~H29)	2.54 (H20~H24)	△ 0.53	1.99 (H25~H29)	2.36 (H20~H24)	△ 0.37
新生児死亡	13	8	5	1.6	0.9	0.7	0.9	0.9	0.0
5年単位	49 (H25~H29)	63 (H20~H24)	△ 14	1.13 (H25~H29)	1.31 (H20~H24)	△ 0.18	0.92 (H25~H29)	1.12 (H20~H24)	△ 0.20
自然増減	△ 9,540	△ 8,683	△ 857	△ 7.5	△ 6.7	△ 0.8	△ 3.2	△ 2.6	△ 0.6
死産	173	183	△ 10	21.1	20.8	0.3	21.1	21.0	0.1
自然死産	81	81	0	9.9	9.2	0.7	10.1	10.1	0.0
人工死産	92	102	△ 10	11.2	11.6	△ 0.4	11.0	10.9	0.1
周産期死亡	32	26	6	4.0	3.0	1.0	3.5	3.6	△ 0.1
5年単位	152 (H25~H29)	208 (H20~H24)	△ 56	3.50 (H25~H29)	4.31 (H20~H24)	△ 0.81	3.65 (H25~H29)	4.16 (H20~H24)	△ 0.51
妊娠満22週以後の死産	21	20	1	2.6	2.3	0.3	2.8	2.9	△ 0.1
早期新生児死亡	11	6	5	1.4	0.7	0.7	0.7	0.7	0.0
婚姻	5,122	5,135	△ 13	4.0	4.0	0.0	4.9	5.0	△ 0.1
離婚	2,092	2,164	△ 72	1.64	1.68	△ 0.04	1.70	1.73	△ 0.03

表2 合計特殊出生率

区分	平成29年	平成28年
青森県	1.43	1.48
全国	1.43	1.44

図1 人口動態総覧（率）の年次推移

(人口千対)



3 出生

(1) 出生数

青森県の平成 29 年の出生数は 8,035 人で、前年の 8,626 人を 591 人下回った。

青森県の出生数は、昭和 25 年から一貫して減少傾向にあり、昭和 50 年には出生数が 24,000 人を超えていたが、平成 21 年以降は 10,000 人を割り込んでいる。

出生率（人口千対）は 6.3 ポイントで、前年の 6.7 を 0.4 ポイント下回った。また全国は 7.6 で、1.3 ポイント下回る結果となった。

(2) 合計特殊出生率の年次推移

平成 29 年の合計特殊出生率は 1.43（全国 1.43）で、前年の 1.48（全国 1.44）から 0.05 ポイント下回った。

青森県の合計特殊出生率は、昭和 40 年代から平成 21 年まで一貫して低下傾向にあったが、平成 25 年から 1.40 台を維持している。

図 2 出生数及び合計特殊出生率の年次推移

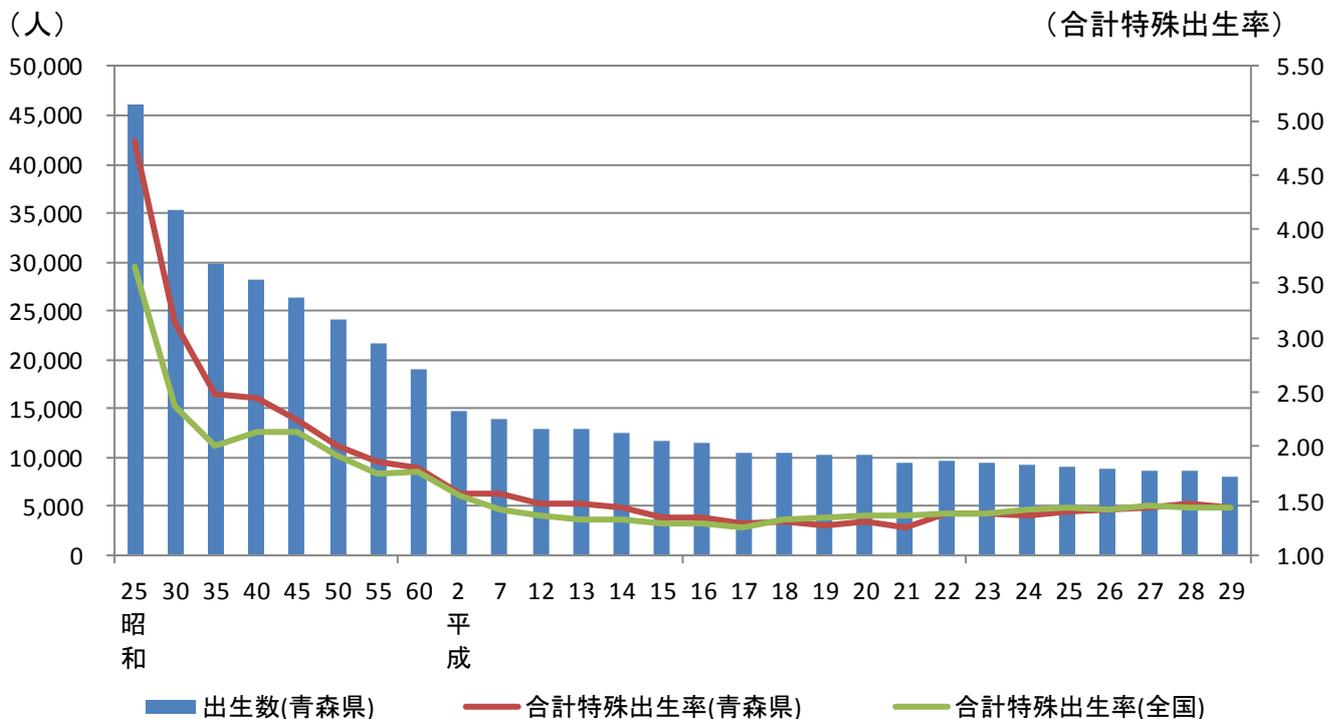
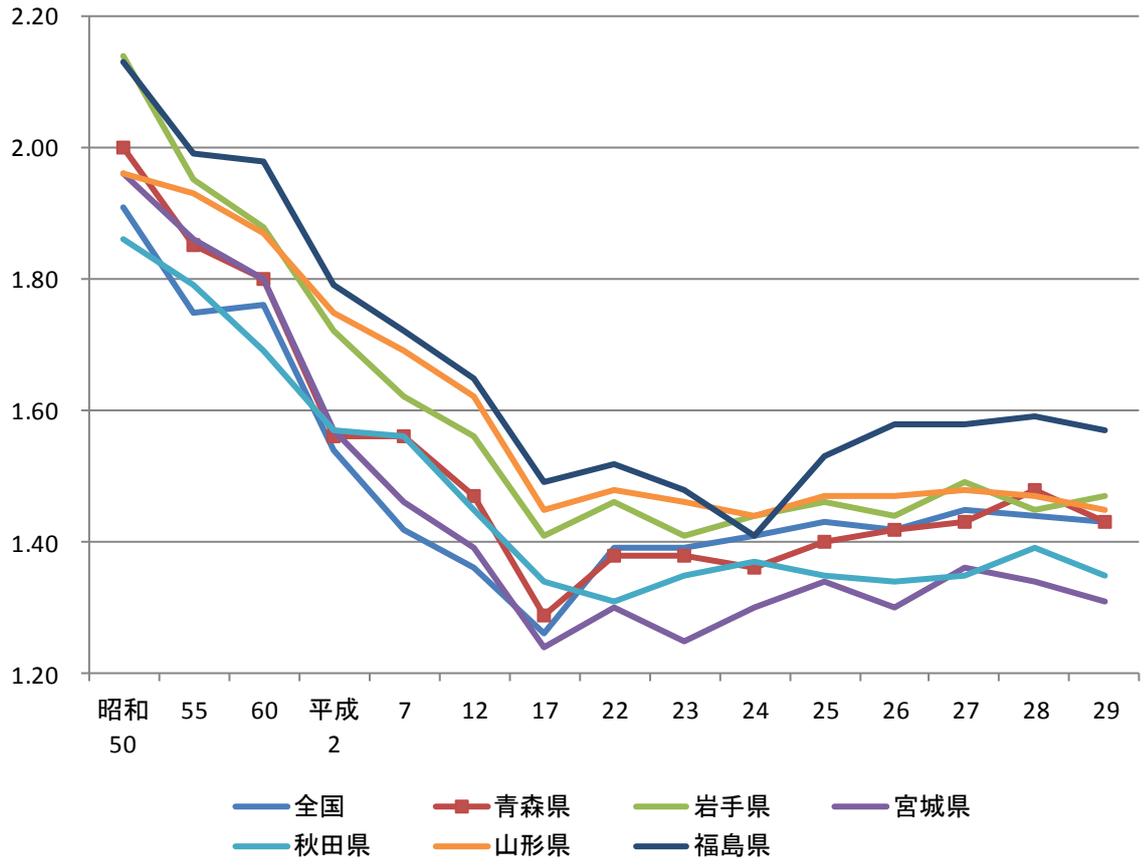


図3 合計特殊出生率の年次推移（全国、東北他県との比較）



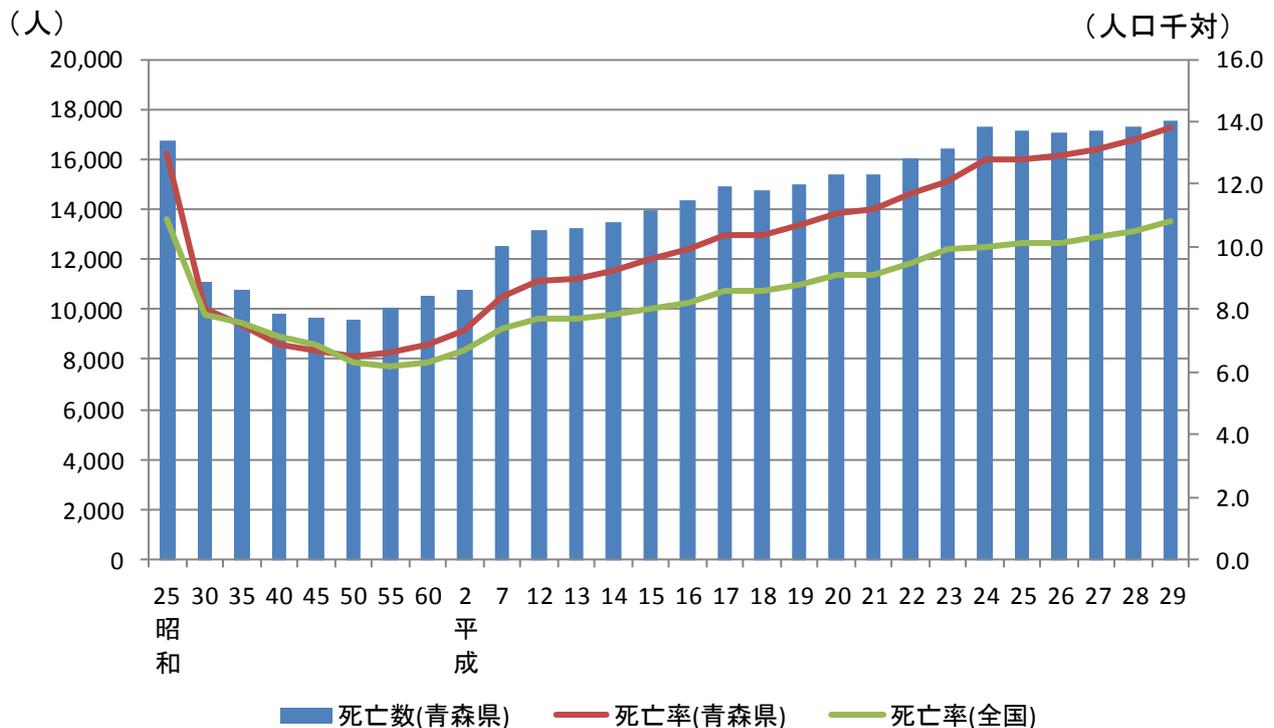
4 死亡

(1) 死亡数・死亡率

平成 29 年の死亡数は 17,575 人で、前年の 17,309 人より 266 人増加し、死亡率（人口千対）は 13.8 ポイント（全国 10.8）で、前年の 13.4（全国 10.5）を 0.4 ポイント上回った。

青森県の死亡者は、高齢化の進行に伴い昭和 52 年以降増加傾向にあり、昭和 55 年には 10,000 人を、平成 20 年には 15,000 人を超えるに至っている。

図 4 死亡数及び死亡率の年次推移



(2) 死因

① 主な死因

平成 29 年の死因の第 1 位は悪性新生物で、死亡数 4,985 人、死亡率（人口 10 万対）は 391.3 となった。第 2 位は心疾患で死亡数 2,607 人、死亡率 204.6、第 3 位は脳血管疾患で、死亡数 1,702 人、死亡率 133.6、第 4 位は肺炎で、死亡数 1,408 人、死亡率 110.5 となった。これらの 4 つの死因で、死亡者 10,702 人と、全体の 60.9%（前年 63.4%）を占めている。

ア 悪性新生物

悪性新生物による死亡率（人口 10 万対）は 391.3 で前年の 390.2 を 1.1 ポイント上回り、全国順位は 2 位（前年 2 位）となった。男女別の死亡率は男性が 482.5 で女性の約 1.6 倍となっている。

死亡率は年々上昇しており、昭和 50 年には 117.8 であったものが、平成 29 年には 391.3 と 3 倍を超えるに至っている。

イ 心疾患

心疾患による死亡率（人口 10 万対）は 204.6 で前年の 199.1 を 5.5 ポイント上回り、全国順位は 13 位（前年 11 位）となった。男女別の死亡率は、男性が 197.0、女性が 211.4 となっている。

死亡率は平成 5 年から平成 12 年にかけて一時低下後、再び上昇に転じ、平成 24 年が 210.8 で過去最高となった。その後低下傾向となったが、平成 29 年は再び上昇に転じた。

ウ 脳血管疾患

脳血管疾患による死亡率（人口10万対）は133.6で前年の124.8を8.8ポイント上回り、全国順位は4位（前年9位）となった。男女別の死亡率は、男性が136.2、女性が131.3となっている。

昭和50年には死亡順位が第1位であったが、その後は低下傾向となり、昭和57年には悪性新生物に替わり第2位となった。さらに昭和61年には心疾患に替わって第3位となり、平成25年に肺炎に替って第4位となったが、平成26年、平成29年は第3位となっている。

エ 肺炎

肺炎による死亡率（人口10万対）は110.5で前年の136.4を25.9ポイント下回り、全国順位は8位（前年5位）となった。また、男女別の死亡率は、男性が127.4、女性が95.6となっている。

図5 主な死因別死亡数の割合（平成29年）

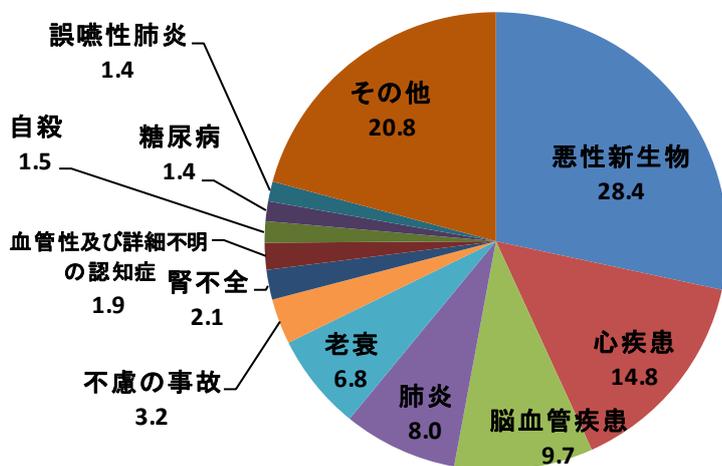
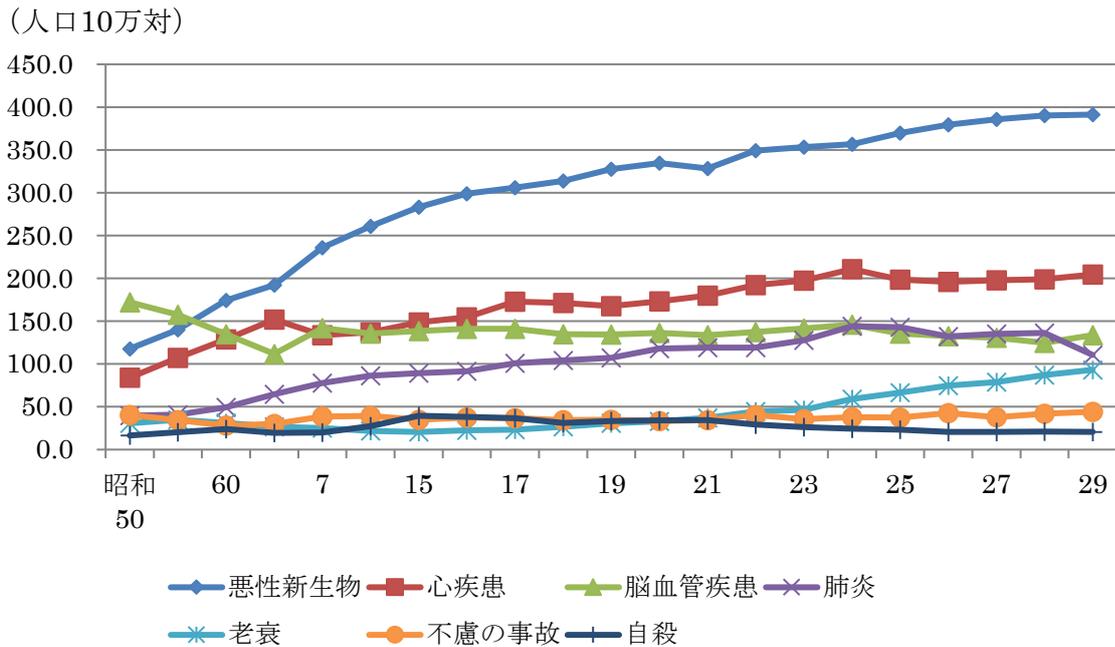


表3 主な死因別にみた死亡数・死亡率・順位

死 因	平成29年							平成28年		
	総 数			男		女		総 数		
	死 亡 数	率	全国順位	死 亡 数	率	死 亡 数	率	死 亡 数	率	全国順位
死亡総数	17,575	1,379.5	5	8,868	1,480.5	8,707	1,289.9	17,309	1,341.8	6
悪性新生物	4,985	391.3	2	2,890	482.5	2,095	310.4	5,034	390.2	2
心疾患	2,607	204.6	13	1,180	197.0	1,427	211.4	2,568	199.1	11
脳血管疾患	1,702	133.6	4	816	136.2	886	131.3	1,610	124.8	9
肺炎	1,408	110.5	8	763	127.4	645	95.6	1,759	136.4	5
老衰	1,188	93.2	22	298	49.7	890	131.9	1,122	87.0	21
不慮の事故	563	44.2	10	331	55.3	232	34.4	539	41.8	14
腎不全	376	29.5	5	189	31.6	187	27.7	416	32.2	3
血管性及び詳細不明の認知症	338	26.5	5	140	23.4	198	29.3	228	17.7	5
自殺	265	20.8	3	202	33.7	63	9.3	271	21.0	5
糖尿病	243	19.1	2	119	19.9	124	18.4	220	17.1	1
誤嚥性肺炎	240	18.8	47	126	21.0	114	16.9			

図6 主な死因別にみた死亡率の年次推移



② 自殺

平成29年の自殺による死亡者数は265人で、前年の271人を6人下回り、平成27年以来2年ぶりの減少となった。また死亡率(人口10万対)は20.8で(全国16.4)、前年の21.0(全国16.8)を0.2ポイント下回った。

図7 自殺による死亡者数・死亡率の推移

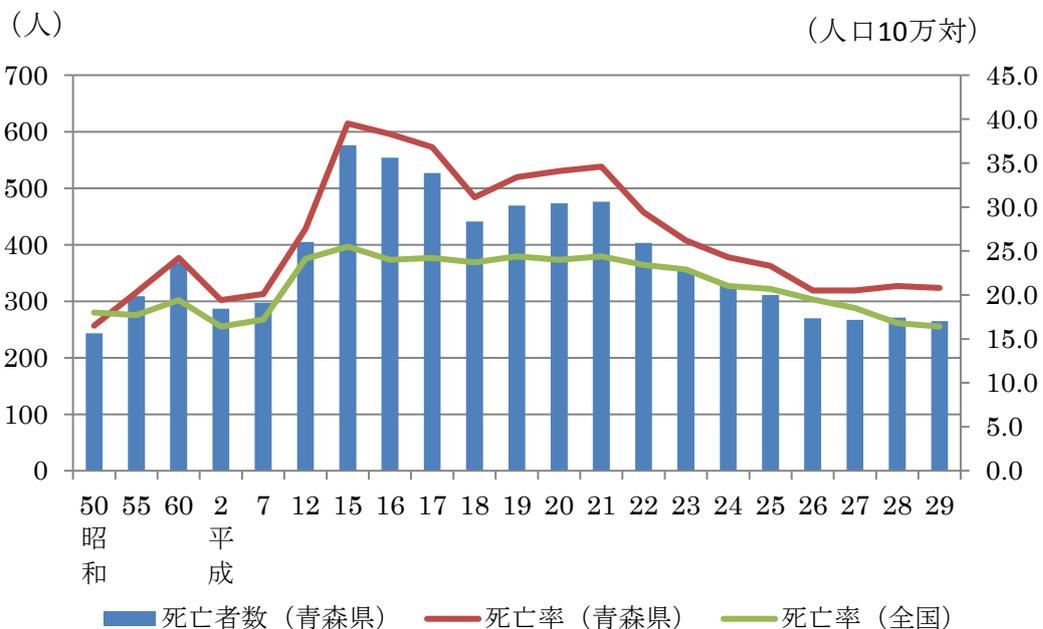


表4 自殺による死亡者数・死亡率の推移

区分	平成20年		21		22		23		24		
	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	
青森県	男性	353	54.1	359	55.6	297	46.1	261	40.8	232	36.7
	女性	120	16.3	117	16.0	106	14.6	95	13.2	95	13.3
	総数	473	34.1	476	34.6	403	29.4	356	26.2	327	24.3
	順位	2		2		3		7		7	
全国	男性	21,546	35.1	22,189	36.2	21,028	34.2	19,904	32.4	18,485	30.1
	女性	8,683	13.5	8,518	13.2	8,526	13.2	8,992	13.9	7,948	12.3
	総数	30,229	24.0	30,707	24.4	29,554	23.4	28,896	22.9	26,433	21.0

区分	平成25年		26		27		28		29		
	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率	
青森県	男性	225	35.9	192	31.0	199	32.4	195	32.2	202	33.7
	女性	86	12.2	78	11.2	68	9.8	76	11.1	63	9.3
	総数	311	23.3	270	20.5	267	20.5	271	21.0	265	20.8
	順位	8		12		11		5		3	
全国	男性	18,158	29.7	16,875	27.6	16,202	26.6	14,639	24.1	14,308	23.6
	女性	7,905	12.3	7,542	11.7	6,950	10.8	6,378	9.9	6,123	9.6
	総数	26,063	20.7	24,417	19.5	23,152	18.5	21,017	16.8	20,431	16.4

表5 都道府県別自殺死亡率（上位・下位5位）

区分	平成20年		21		22		23		平成24年	
	県名	死亡率	県名	死亡率	県名	死亡率	県名	死亡率	県名	死亡率
高死亡率	1位	秋田 37.1	秋田 38.1	秋田 33.1	秋田 32.3	秋田 27.6				
	2位	青森 34.1	青森 34.6	岩手 32.2	岩手 28.3	新潟 26.4				
	3位	岩手 33.7	岩手 34.4	青森 29.4	新潟 27.7	高知 25.9				
	4位	宮崎 32.1	島根 30.9	新潟 28.6	宮崎 27.7	岩手 25.3				
	5位	鳥取 31.0	高知 30.5	山梨 27.4	沖縄 27.2	山形 25.3				
					青森 26.2(7位)	青森 24.3(7位)				
低死亡率	43位	石川 20.6	愛知 20.9	福井 20.1	三重 19.8	愛知 18.3				
	44位	佐賀 20.4	岡山 20.8	愛知 19.8	広島 19.6	奈良 17.7				
	45位	香川 20.2	香川 20.7	徳島 19.5	徳島 18.8	長崎 17.7				
	46位	愛知 20.0	滋賀 20.2	三重 19.3	福井 18.4	香川 17.5				
	47位	岡山 19.7	奈良 19.6	奈良 19.2	奈良 17.4	京都 17.3				

区分	25		26		27		28		29	
	県名	死亡率	県名	死亡率	県名	死亡率	県名	死亡率	県名	死亡率
高死亡率	1位	秋田 26.5	岩手 26.6	秋田 25.7	秋田 23.8	秋田 24.3				
	2位	岩手 26.4	秋田 26.0	岩手 23.3	岩手 22.8	岩手 21.0				
	3位	新潟 26.1	宮崎 23.9	宮崎 23.2	新潟 21.8	青森 20.8				
	4位	島根 25.4	新潟 23.5	島根 22.9	和歌山 21.7	愛媛 20.3				
	5位	群馬 25.2	富山 22.8	新潟 22.0	青森 21.0	福島 20.1				
		青森 23.3(8位)	青森 20.5(12位)	青森 20.5(11位)						
低死亡率	43位	佐賀 18.1	奈良 17.1	香川 16.2	神奈川 14.6					
	44位	神奈川 17.9	福井 17.1	愛知 16.0	鳥取 14.5	愛知 14.3				
	45位	福井 17.9	岡山 17.0	奈良 15.9	愛知 14.4	京都 14.1				
	46位	岡山 17.8	佐賀 17.0	高知 15.7	京都 14.2	奈良 14.0				
	47位	石川 17.7	石川 15.7	福井 15.4	奈良 13.6	岡山 13.9				

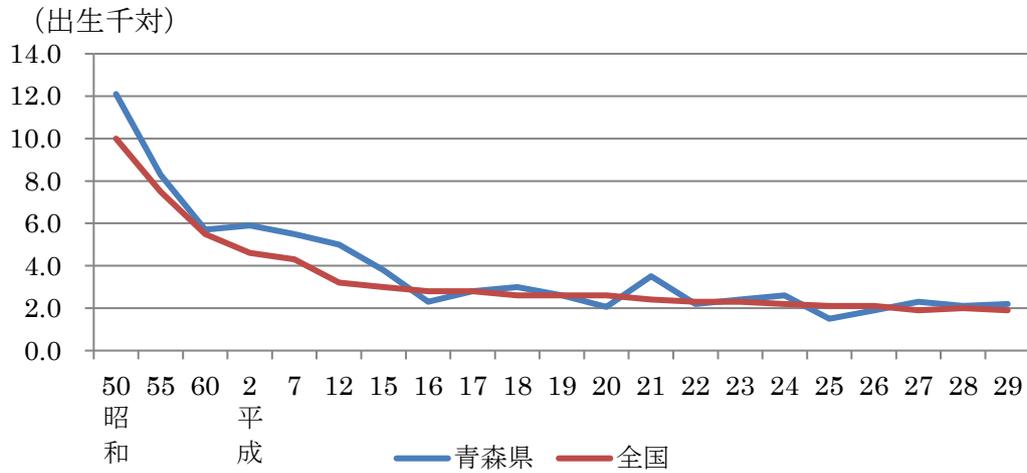
※ 平成29年の43位については、42位が2都県だったため、該当なしとした。

(3) 乳児死亡等

① 乳児死亡

平成 29 年の乳児死亡数は 18 人で、前年の 18 人と同数となった。乳児死亡率（出生千対）は 2.2（全国 1.9）で、前年の 2.1（全国 2.0）を 0.1 ポイント上回った。

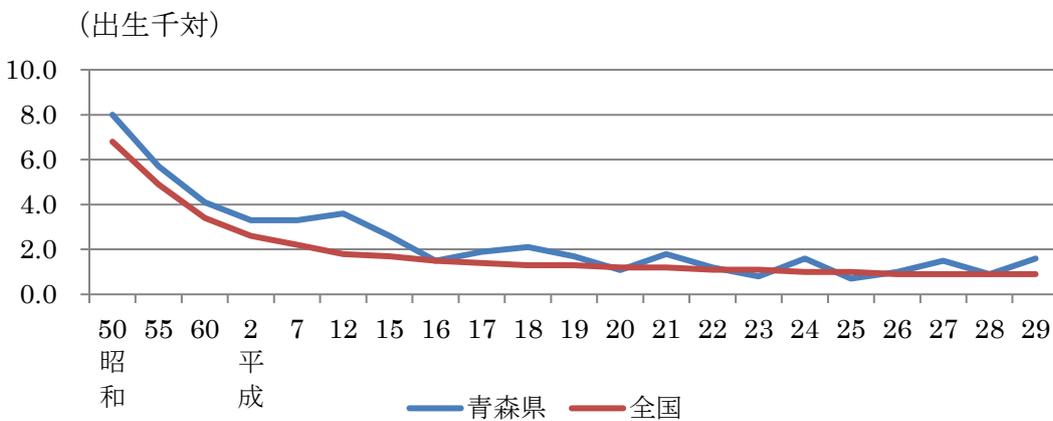
図 8 乳児死亡率の年次推移



② 新生児死亡

平成 29 年の新生児死亡数は 13 人で、前年の 8 人を 5 人上回った。新生児死亡率（出生千対）は 1.6（全国 0.9）で、前年の 0.9（全国 0.9）を 0.7 ポイント上回った。

図 9 新生児死亡率の年次推移



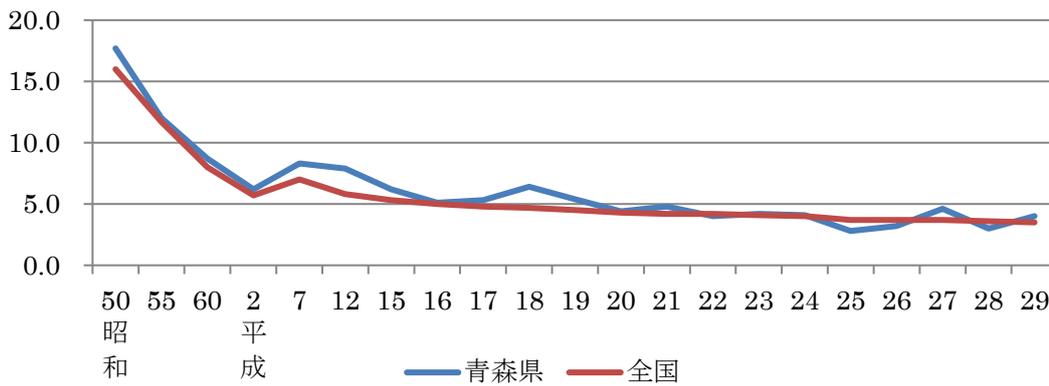
③ 周産期死亡

平成 29 年の周産期死亡数は 32 件で、前年の 26 件を 6 件上回った。周産期死亡率（出産千対）は 4.0（全国 3.5）で、前年の 3.0（全国 3.6）を 1.0 ポイント上回った。

また、周産期死亡の内訳は満 22 週以降の死産が 21 胎、早期新生児死亡が 11 人であった。

図 10 周産期死亡率の年次推移

(出生千対、出産千対)



※ 死亡数、死亡率の算定方法が、平成6年以前と平成7年以降では異なっている。

	死亡数	死亡率
平成6年以前	妊娠28週以後死産 + 早期新生児	出生千対
平成7年以降	妊娠22週以後死産 + 早期新生児	出産千対 (出生+妊 娠22週以後死産)

④ 5か年比較

①～③については、対象数が少ないため実数1件当たりの影響が大きいことから平成20年から24年までと、平成25年から平成29年までの5年単位で比較すると、いずれも改善傾向にある。

表 6 乳児死亡・新生児死亡・周産期死亡 (実数・率) の5か年比較

区分	乳児死亡				新生児死亡				周産期死亡				
	人数	5年合計	率	5年平均	人数	5年合計	率	5年平均	人数	5年合計	率	5年平均	
青森県	平成20	21	122	2.1	2.54	11	63	1.1	1.31	45	208	4.4	4.31
	21	33		3.5		17		1.8		46		4.8	
	22	21		2.2		12		1.2		39		4.0	
	23	23		2.4		8		0.8		40		4.2	
	24	24		2.6		15		1.6		38		4.1	
	25	14	87	1.5	2.01	6	49	0.7	1.13	26	152	2.8	3.50
	26	17		1.9		9		1.0		28		3.2	
	27	20		2.3		13		1.5		40		4.6	
	28	18		2.1		8		0.9		26		3.0	
29	18	2.2		13		1.6		32		4.0			
全国	平成20	2,798	12,566	2.6	2.36	1,331	5,964	1.2	1.12	4,720	22,202	4.3	4.16
	21	2,556		2.4		1,254		1.2		4,519		4.2	
	22	2,450		2.3		1,167		1.1		4,515		4.2	
	23	2,463		2.3		1,147		1.1		4,315		4.1	
	24	2,299		2.2		1,065		1.0		4,133		4.0	
	25	2,185	9,870	2.1	1.99	1,026	4,585	1.0	0.92	3,862	18,160	3.7	3.65
	26	2,080		2.1		952		0.9		3,750		3.7	
	27	1,916		1.9		902		0.9		3,728		3.7	
	28	1,928		2.0		874		0.9		3,516		3.6	
29	1,761	1.9		831		0.9		3,304		3.5			

※ 「5年平均の率」は、「5年合計」を乳児・新生児死亡については5年分出生数で、周産期死亡については5年分出産数(出生数+妊娠満22週以降の死産数)で除した数値である。

5 婚姻・離婚

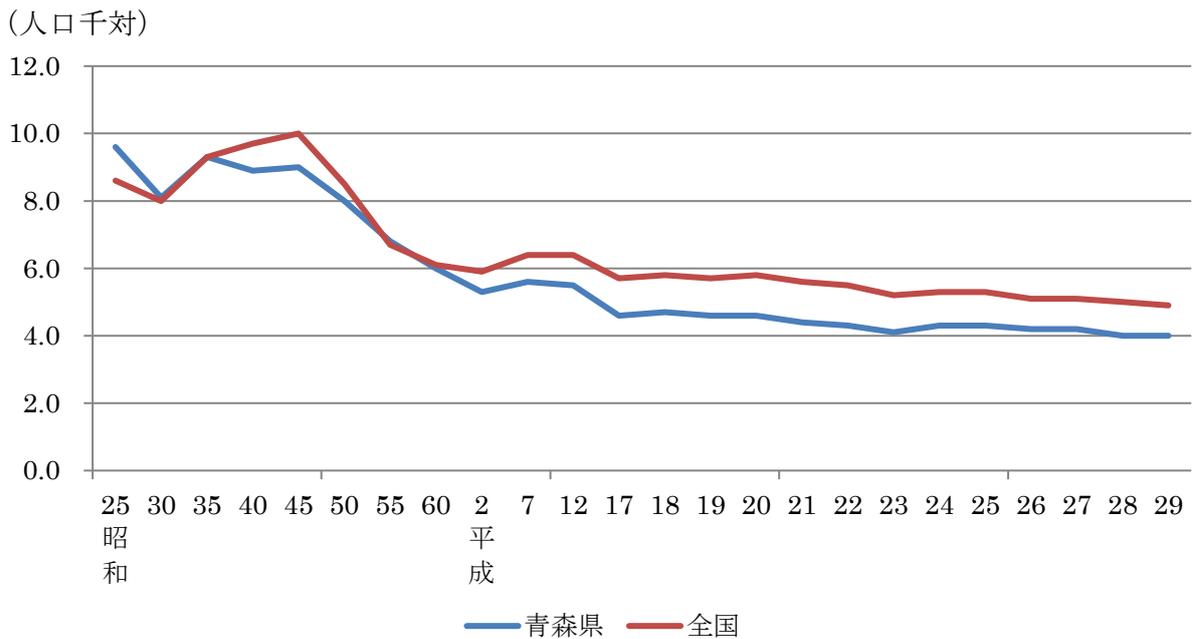
(1) 婚姻

① 婚姻件数

平成 29 年の婚姻件数は 5,122 組で、前年の 5,135 組を 13 組下回り、婚姻率（人口千対）は 4.0（全国 4.9）で、前年の 4.0（全国 5.0）と同率であった。

本県の婚姻件数・婚姻率は、昭和 25 年以降減少・低下傾向にあり、平成 24 年には一時的に増加・上昇したが、平成 25 年から減少・低下が続いている。

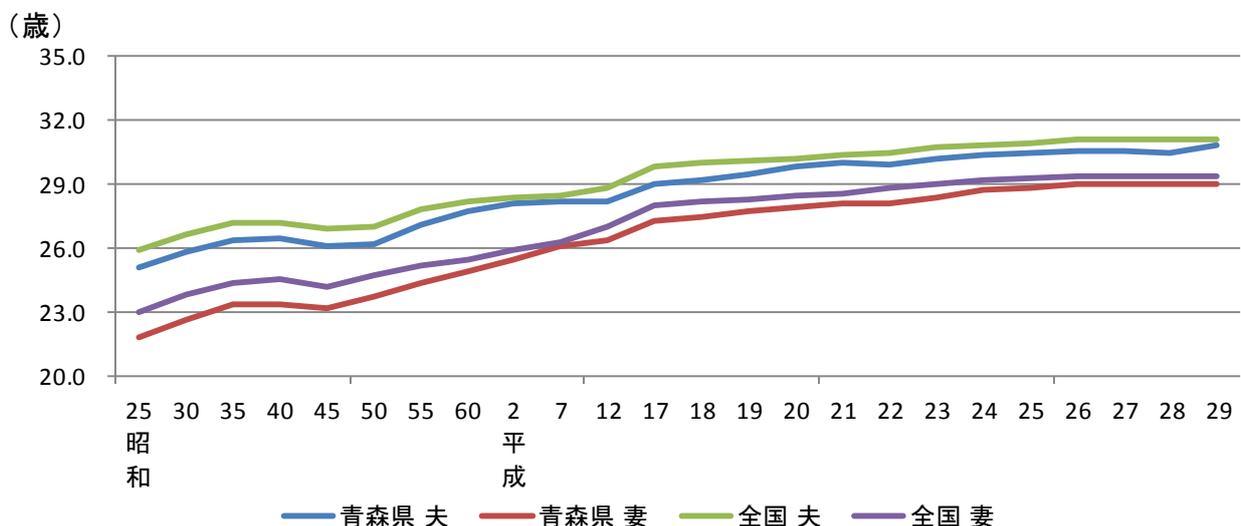
図 1 1 婚姻率の推移



② 平均初婚年齢

平成 29 年の平均初婚年齢は、男性が 30.8 歳（全国 31.1 歳）、女性が 29.0 歳（全国 29.4 歳）で、男性は前年の 30.5 歳（全国 31.1 歳）を 0.3 歳上回り、女性は前年の 29.0 歳（全国 29.4 歳）と同値であった。

図 1 2 平均初婚年齢の推移

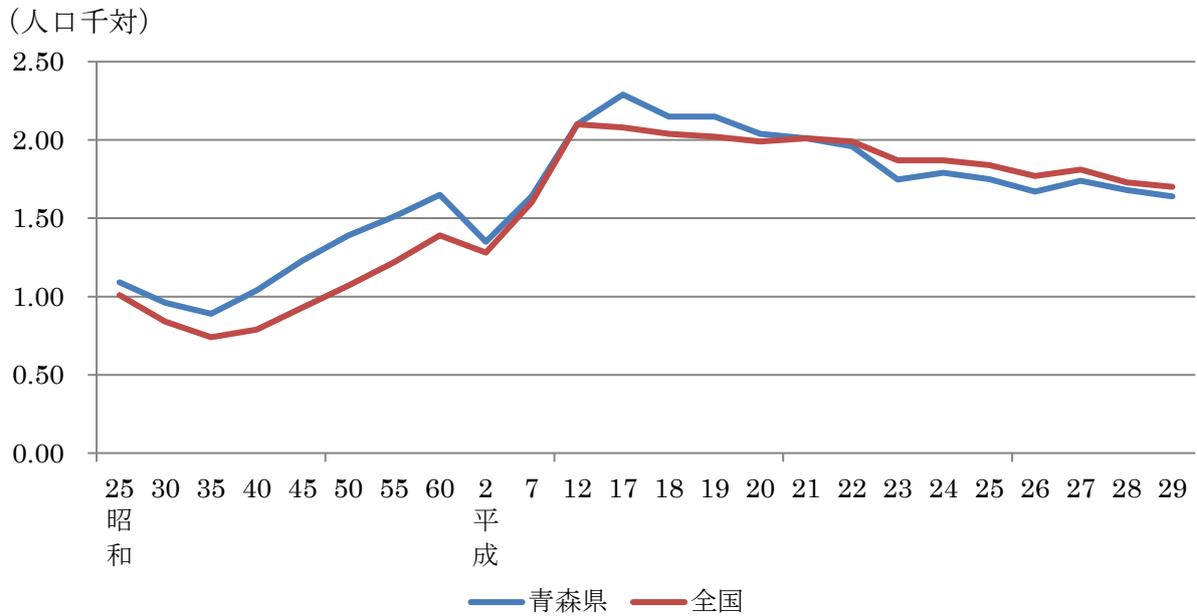


(2) 離婚

平成 29 年の離婚件数は 2,092 組で、前年の 2,164 組を 72 組下回り、離婚率（人口千対）は 1.64（全国 1.70）で、前年の 1.68（全国 1.73）を 0.04 ポイント下回った。

本県の離婚件数、離婚率については、平成 15 年にピークに達し、その後は緩やかな減少・低下傾向にある。

図 1 3 青森県の離婚率の推移



統計表

第1表 人口動態総覧の年次推移

年	出生数	死亡数	自然増減数	乳児死亡数	新生児死亡数	死産数			周産期死亡数	婚姻件数	離婚件数
						総数	自然	人工			
昭和25年	46,137	16,707	29,430	4,404	...	3,885	1,845	2,040	...	12,366	1,396
30	35,219	11,094	24,125	2,043	942	3,216	1,339	1,877	1,433	11,213	1,329
35	29,881	10,742	19,139	1,370	663	3,367	1,592	1,775	1,314	13,205	1,276
40	28,204	9,805	18,399	822	507	2,561	1,352	1,209	909	12,592	1,480
45	26,369	9,669	16,700	468	293	2,090	1,188	902	631	12,878	1,763
50	24,031	9,546	14,485	291	193	1,583	951	632	425	11,695	2,047
55	21,761	10,052	11,709	180	124	1,122	735	387	261	10,414	2,307
60	19,095	10,547	8,548	109	78	1,010	490	520	166	9,175	2,512
61	18,353	10,043	8,310	103	60	951	485	466	150	8,902	2,511
62	17,324	10,200	7,124	107	68	855	442	413	155	8,200	2,369
63	16,373	10,751	5,622	98	62	777	396	381	119	8,136	2,045
平成1年	15,544	10,901	4,643	105	69	748	378	370	136	7,858	2,202
2	14,635	10,812	3,823	86	48	645	311	334	91	7,892	2,001
3	15,030	11,241	3,789	76	39	565	292	273	89	7,868	2,205
4	14,486	11,631	2,855	68	35	610	274	336	81	8,180	2,266
5	14,357	12,210	2,147	75	40	562	266	296	87	8,636	2,385
6	14,767	11,950	2,817	61	41	542	276	266	87	8,239	2,331
7	13,972	12,496	1,476	77	46	527	235	292	116	8,306	2,429
8	13,955	12,542	1,413	60	36	480	220	260	102	8,190	2,496
9	13,606	12,768	838	44	20	494	232	262	101	7,912	2,650
10	13,594	12,752	842	49	28	498	207	291	83	8,113	2,806
11	13,146	13,445	△ 299	67	46	467	181	286	87	7,730	2,888
12	12,920	13,147	△ 227	64	47	471	200	271	103	8,138	3,092
13	12,889	13,281	△ 392	48	28	460	190	270	92	8,069	3,440
14	12,434	13,446	△ 1,012	46	31	426	171	255	76	7,730	3,631
15	11,723	13,995	△ 2,272	45	30	415	163	252	73	7,130	3,645
16	11,554	14,372	△ 2,818	27	17	369	160	209	59	6,924	3,429
17	10,524	14,882	△ 4,358	29	20	367	154	213	56	6,584	3,281
18	10,556	14,733	△ 4,177	32	22	382	166	216	68	6,642	3,044
19	10,162	14,968	△ 4,806	26	17	311	131	180	55	6,405	3,014
20	10,187	15,400	△ 5,213	21	11	290	130	160	45	6,401	2,828
21	9,523	15,387	△ 5,864	33	17	290	139	151	46	6,067	2,768
22	9,711	16,030	△ 6,319	21	12	283	142	141	39	5,924	2,679
23	9,531	16,419	△ 6,888	23	8	256	120	136	40	5,583	2,377
24	9,168	17,294	△ 8,126	24	15	260	119	141	38	5,846	2,408
25	9,126	17,112	△ 7,986	14	6	239	112	127	26	5,723	2,335
26	8,853	17,042	△ 8,189	17	9	250	108	142	28	5,481	2,195
27	8,621	17,148	△ 8,527	20	13	216	102	114	40	5,432	2,267
28	8,626	17,309	△ 8,683	18	8	183	81	102	26	5,135	2,164
29	8,035	17,575	△ 9,540	18	13	173	81	92	32	5,122	2,092

第2表 人口動態総覧（率）の年次推移

年	出生	死亡	自然増減	乳児死亡	新生児死亡	死産（出産千対）			周産期死亡	婚姻	離婚
	（人口千対）			（出生千対）		総数	自然	人工	（出産千対）	（人口千対）	
昭和25年	36.0	13.0	22.9	95.5	...	77.7	36.9	40.3	...	9.6	1.09
30	25.5	8.0	17.4	58.0	26.7	83.7	34.8	48.8	39.8	8.1	0.96
35	20.9	7.5	13.4	45.8	22.2	101.3	47.9	53.4	44.0	9.3	0.89
40	19.9	6.9	13.0	29.1	18.0	83.2	43.9	39.3	32.2	8.9	1.04
45	18.4	6.8	11.6	17.7	11.1	73.4	41.7	31.7	23.9	9.0	1.23
50	16.4	6.5	9.9	12.1	8.0	61.8	37.1	24.7	17.7	8.0	1.40
55	14.3	6.6	7.7	8.3	5.7	49.0	32.1	16.9	12.0	6.8	1.52
60	12.6	6.9	5.6	5.7	4.1	50.2	24.4	25.9	8.7	6.0	1.65
61	12.1	6.6	5.5	5.6	3.3	49.3	25.1	24.1	8.2	5.9	1.65
62	11.5	6.7	4.7	6.2	3.9	47.0	24.3	22.7	8.9	5.4	1.57
63	10.9	7.1	3.7	6.0	3.8	45.3	23.1	22.2	7.3	5.4	1.36
平成1年	10.4	7.3	3.1	6.8	4.4	45.9	23.3	22.7	8.7	5.2	1.47
2	9.9	7.3	2.6	5.9	3.3	42.2	20.4	21.9	6.2	5.3	1.35
3	10.2	7.6	2.6	5.1	2.6	36.2	18.7	17.5	5.9	5.3	1.50
4	9.9	7.9	1.9	4.7	2.4	40.4	18.2	22.3	5.6	5.6	1.54
5	9.8	8.3	1.5	5.2	2.8	37.7	17.8	19.8	6.1	5.9	1.63
6	10.1	7.1	1.9	4.1	2.8	35.4	18.0	17.4	5.9	5.6	1.59
7	9.5	8.5	1.0	5.5	3.3	36.3	16.2	20.1	8.3	5.6	1.64
8	9.4	8.1	1.0	4.3	2.6	33.3	15.2	18.0	7.3	5.5	1.68
9	9.2	8.6	0.6	3.2	1.5	35.0	16.5	18.6	7.4	5.4	1.79
10	9.2	8.6	0.6	3.6	2.1	35.3	14.7	20.7	6.1	5.5	1.90
11	8.9	9.1	△ 0.2	5.1	3.5	34.3	13.3	21.0	6.6	5.2	1.96
12	8.8	8.9	△ 0.2	5.0	3.6	35.2	14.9	20.2	7.9	5.5	2.10
13	8.8	9.0	△ 0.3	3.7	2.2	34.5	14.2	20.2	7.1	5.5	2.34
14	8.5	9.2	△ 0.7	3.7	2.5	33.1	13.3	19.8	6.1	5.3	2.48
15	8.0	9.6	△ 1.6	3.8	2.6	34.2	13.4	20.8	6.2	4.9	2.50
16	8.0	9.9	△ 1.9	2.3	1.5	30.9	13.4	17.5	5.1	4.8	2.37
17	7.3	10.4	△ 3.0	2.8	1.9	33.7	14.1	19.6	5.3	4.6	2.29
18	7.4	10.4	△ 2.9	3.0	2.1	34.9	15.2	19.7	6.4	4.7	2.15
19	7.2	10.7	△ 3.4	2.6	1.7	29.7	12.5	17.2	5.4	4.6	2.15
20	7.3	11.1	△ 3.8	2.1	1.1	27.7	12.4	15.3	4.4	4.6	2.04
21	6.9	11.2	△ 4.3	3.5	1.8	29.6	14.2	15.4	4.8	4.4	2.01
22	7.1	11.7	△ 4.6	2.2	1.2	28.3	14.2	14.1	4.0	4.3	1.96
23	7.0	12.1	△ 5.1	2.4	0.8	26.2	12.3	13.9	4.2	4.1	1.75
24	6.8	12.8	△ 6.0	2.6	1.6	27.6	12.6	15.0	4.1	4.3	1.79
25	6.8	12.8	△ 6.0	1.5	0.7	25.5	12.0	13.6	2.8	4.3	1.75
26	6.7	12.9	△ 6.2	1.9	1.0	27.5	11.9	15.6	3.2	4.2	1.67
27	6.6	13.1	△ 6.5	2.3	1.5	24.4	11.5	12.9	4.6	4.2	1.74
28	6.7	13.4	△ 6.7	2.1	0.9	20.8	9.2	11.6	3.0	4.0	1.68
29	6.3	13.8	△ 7.5	2.2	1.6	21.1	9.9	11.2	4.0	4.0	1.64

第3表 出生数の年次別推移、母の年齢階級（5歳階級）別

母の年齢	平成2年	7	12	17	22	23	24	25	26	27	28	29
総数	14,635	13,972	12,920	10,524	9,711	9,531	9,168	9,126	8,853	8,621	8,626	8,035
（再掲）												
15歳～19歳	200	240	297	192	144	142	131	141	158	125	109	89
20歳～24歳	2,467	2,614	2,361	1,730	1,344	1,250	1,127	1,065	1,035	1,002	976	925
25歳～29歳	6,430	5,406	4,694	3,473	3,086	2,948	2,881	2,631	2,528	2,439	2,374	2,175
30歳～34歳	4,266	4,244	3,944	3,451	3,108	3,181	2,983	3,126	3,007	2,972	2,939	2,727
35歳～39歳	1,131	1,296	1,414	1,446	1,736	1,725	1,697	1,803	1,762	1,718	1,834	1,719
40歳～44歳	140	167	201	227	285	281	337	352	352	358	387	388
45歳～49歳	1	4	9	5	8	4	12	5	10	7	7	11

※出生数総数には母の年齢14歳以下、50歳以上及び年齢不詳が含まれている。

第4表 母の年齢階級（5歳階級）別出生数の構成割合

母の年齢	平成2年	7	12	17	22	23	24	25	26	27	28	29
15歳～19歳	1.4	1.7	2.3	1.8	1.5	1.5	1.4	1.5	1.8	1.4	1.3	1.1
20歳～24歳	16.9	18.7	18.3	16.4	13.8	13.1	12.3	11.7	11.7	11.6	11.3	11.5
25歳～29歳	43.9	38.7	36.3	33.0	31.8	30.9	31.4	28.8	28.6	28.3	27.5	27.1
30歳～34歳	29.1	30.4	30.5	32.8	32.0	33.4	32.6	34.3	34.0	34.5	34.1	33.9
35歳～39歳	7.7	9.3	10.9	13.7	17.9	18.1	18.5	19.8	19.9	19.9	21.3	21.4
40歳～44歳	1.0	1.2	1.6	2.2	2.9	3.0	3.7	3.9	4.0	4.2	4.5	4.8
45歳～49歳	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1

第5表 合計特殊出生率の年次推移（全国、東北6県比較）

年	全国	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県
昭和							
50	1.91	2.00	2.14	1.96	1.86	1.96	2.13
55	1.75	1.85	1.95	1.86	1.79	1.93	1.99
60	1.76	1.80	1.88	1.80	1.69	1.87	1.98
平成							
2	1.54	1.56	1.72	1.57	1.57	1.75	1.79
7	1.42	1.56	1.62	1.46	1.56	1.69	1.72
12	1.36	1.47	1.56	1.39	1.45	1.62	1.65
17	1.26	1.29	1.41	1.24	1.34	1.45	1.49
18	1.32	1.31	1.39	1.25	1.34	1.45	1.49
19	1.34	1.28	1.39	1.27	1.31	1.42	1.49
20	1.37	1.30	1.39	1.29	1.32	1.44	1.52
21	1.37	1.26	1.37	1.25	1.29	1.39	1.49
22	1.39	1.38	1.46	1.30	1.31	1.48	1.52
23	1.39	1.38	1.41	1.25	1.35	1.46	1.48
24	1.41	1.36	1.44	1.30	1.37	1.44	1.41
25	1.43	1.40	1.46	1.34	1.35	1.47	1.53
26	1.42	1.42	1.44	1.30	1.34	1.47	1.58
27	1.45	1.43	1.49	1.36	1.35	1.48	1.58
28	1.44	1.48	1.45	1.34	1.39	1.47	1.59
29	1.43	1.43	1.47	1.31	1.35	1.45	1.57

第6表 主な死因別にみた死亡率（人口10万対）の年次推移

年	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	老衰	不慮の事故	自殺
昭和							
50	117.8	84.0	172.1	39.6	30.6	40.6	16.5
55	140.2	107.2	157.5	40.7	34.9	34.4	20.3
60	174.3	129.0	134.9	49.3	31.1	28.0	24.2
平成							
2	192.4	151.8	111.8	64.7	26.7	30.0	19.4
7	236.0	133.5	141.9	77.9	25.3	38.4	20.1
12	261.0	136.9	135.5	86.2	21.7	39.4	27.5
15	283.2	148.7	138.5	89.4	20.6	35.0	39.5
16	298.8	154.7	141.2	91.7	22.7	37.4	38.3
17	305.9	172.9	141.3	100.9	23.4	36.6	36.8
18	313.9	171.2	134.8	104.2	26.7	34.4	31.1
19	327.7	167.6	134.3	107.1	30.6	35.0	33.4
20	334.7	173.1	136.2	118.1	32.9	33.4	34.1
21	328.4	179.9	133.7	119.2	37.2	34.3	34.6
22	349.3	192.3	137.5	119.1	44.4	40.3	29.4
23	353.2	197.4	141.5	127.6	46.3	35.7	26.2
24	356.7	210.8	145.9	144.1	59.0	37.9	24.3
25	369.7	198.7	135.5	143.1	66.4	37.4	23.3
26	379.5	196.1	132.5	132.2	74.7	42.6	20.5
27	385.9	197.9	130.7	135.3	78.7	37.8	20.5
28	390.2	199.1	124.8	136.4	87.0	41.8	21.0
29	391.3	204.6	133.6	110.5	93.2	44.2	20.8

第7表 死亡順位別にみた死亡数の構成割合

		昭和55	60	平成2	7	12	17	22
第1位	死因分類名	脳血管疾患	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物
	割合	23.9	25.1	26.4	27.9	29.2	29.5	29.8
第2位	死因分類名	悪性新生物	脳血管疾患	心疾患	脳血管疾患	心疾患	心疾患	心疾患
	割合	21.2	19.5	20.8	16.8	15.3	16.6	16.4
第3位	死因分類名	心疾患	心疾患	脳血管疾患	心疾患	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患
	割合	16.3	18.6	15.3	15.8	15.2	13.6	11.7

		平成23	24	25	26	27	28	29
第1位	死因分類名	悪性新生物						
	割合	29.3	27.8	28.8	29.4	29.4	29.1	28.4
第2位	死因分類名	心疾患						
	割合	16.4	16.4	15.5	15.2	15.1	14.8	14.8
第3位	死因分類名	脳血管疾患	脳血管疾患	肺炎	脳血管疾患	肺炎	肺炎	脳血管疾患
	割合	11.7	11.4	11.2	10.2	10.3	10.2	9.7

第8表 主な死因別にみた年齢調整死亡率の推移

死因	平成7年		12		17		22		27	
	男性									
	死亡率	全国順位								
総数	833.1	2	755.9	1	733.4	1	662.4	1	585.6	1
悪性新生物	247.3	6	240.2	3	234.1	1	215.9	1	201.6	1
心疾患	123.0	1	102.5	1	108.0	1	98.8	1	76.8	6
脳血管疾患	122.1	2	102.7	1	84.0	1	67.1	2	52.8	1
肺炎	78.2	1	69.3	1	61.7	1	58.6	1	49.1	1
自殺	28.1	8	34.8	11	52.2	1	39.1	2	26.5	11
不慮の事故	51.0	5	44.3	2	37.1	8	33.0	3	25.4	7
腎不全	14.8	2	11.9	1	10.0	11	12.8	1	10.0	1
肝疾患	17.8	12	17.3	6	15.8	5	12.6	7	10.9	8
糖尿病	10.8	16	9.9	3	9.0	7	9.0	1	9.3	2
老衰	13.4	7	8.7	7	6.6	14	7.8	17	10.5	19
死因	女性									
	死亡率	全国順位								
	総数	404.9	3	346.5	2	322.9	2	304.3	1	288.4
悪性新生物	110.3	11	101.1	23	99.6	9	105.6	1	103.0	1
心疾患	63.7	7	53.5	6	50.2	8	44.9	8	36.6	16
脳血管疾患	72.5	7	51.6	9	45.3	2	34.0	3	28.2	3
肺炎	32.2	7	26.9	2	24.1	7	20.2	15	19.6	4
自殺	8.7	35	11.8	8	11.8	9	12.4	10	7.4	40
不慮の事故	16.3	24	14.4	18	11.9	25	10.9	22	9.7	12
腎不全	9.0	3	8.4	1	6.4	5	5.8	8	5.2	3
肝疾患	5.1	29	4.2	29	4.4	15	4.3	11	3.7	13
糖尿病	7.5	9	4.8	12	4.3	11	4.0	10	3.7	2
老衰	14.2	5	8.9	7	6.8	22	10.1	13	13.1	25

※ 年齢調整死亡率

各都道府県間では年齢構成に差があるため、高齢者の多い地域では死亡率が高くなる傾向にあるため、このような年齢構成の異なる地域間で適切に死亡状況を比較できるよう年齢構成を調整した死亡率。調整に当たっては、昭和60年モデル人口を基準人口として使用する。厚生労働省では、都道府県別の年齢調整死亡率を5年ごとに公表している。

第9表 乳児死亡数及び死亡率の推移

年	乳児死亡数				
	青森県			全国	
	死亡数	死亡率	全国順位	死亡数	死亡率
昭和50	291	12.1	7	19,103	10.0
55	180	8.3	13	11,841	7.5
60	109	5.7	19	7,899	5.5
平成2	86	5.9	5	5,616	4.6
7	77	5.5	4	5,054	4.3
12	64	5.0	1	3,830	3.2
15	45	3.8	2	3,364	3.0
16	27	2.3	44	3,122	2.8
17	29	2.8	28	2,958	2.8
18	32	3.0	8	2,864	2.6
19	26	2.6	23	2,828	2.6
20	21	2.1	41	2,798	2.6
21	33	3.5	3	2,556	2.4
22	21	2.2	35	2,450	2.3
23	23	2.4	16	2,463	2.3
24	24	2.6	10	2,299	2.2
25	14	1.5	45	2,185	2.1
26	17	1.9	34	2,080	2.1
27	20	2.3	8	1,916	1.9
28	18	2.1	19	1,928	2.0
29	18	2.2	11	1,761	1.9

第10表 新生児死亡数及び死亡率の推移

年	新生児死亡数				
	県			国	
	死亡数	死亡率	全国順位	死亡数	死亡率
昭和50	193	8.0	11	12,912	6.8
55	124	5.7	12	7,796	4.9
60	78	4.1	8	4,910	3.4
平成2	48	3.3	9	3,179	2.6
7	46	3.3	3	2,615	2.2
12	47	3.6	1	2,106	1.8
15	30	2.6	1	1,879	1.7
16	17	1.5	26	1,622	1.5
17	20	1.9	3	1,510	1.4
18	22	2.1	2	1,444	1.3
19	17	1.7	9	1,434	1.3
20	11	1.1	30	1,331	1.2
21	17	1.8	6	1,254	1.2
22	12	1.2	15	1,167	1.1
23	8	0.8	35	1,147	1.1
24	15	1.6	3	1,065	1.0
25	6	0.7	43	1,026	1.0
26	9	1.0	17	952	0.9
27	13	1.5	3	902	0.9
28	8	0.9	21	874	0.9
29	13	1.6		831	0.9

※ 乳児死亡率の全国順位は、概数公表時には国から示されないため、斜線とした。

第 1 1 表 周産期死亡数及び死亡率の推移

年	周産期死亡数				
	県			国	
	死亡数	死亡率	全国順位	死亡数	死亡率
昭和 50	425	17.7	12	30,513	16.0
55	261	12.0	22	18,385	11.7
60	166	8.7	10	11,470	8.0
平成 2	91	6.2	13	7,001	5.7
7	116	8.3	5	8,412	7.0
12	103	7.9	1	6,881	5.8
15	73	6.2	4	5,929	5.3
16	59	5.1	24	5,541	5.0
17	56	5.3	10	5,149	4.8
18	68	6.4	2	5,100	4.7
19	55	5.4	5	4,906	4.5
20	45	4.4	17	4,720	4.3
21	46	4.8	8	4,519	4.2
22	39	4.0	27	4,515	4.2
23	40	4.2	28	4,315	4.1
24	38	4.1	18	4,133	4.0
25	26	2.8	45	3,862	3.7
26	28	3.2	39	3,750	3.7
27	40	4.6	7	3,728	3.7
28	26	3.0	39	3,516	3.6
29	32	4.0	9	3,304	3.5

※ 死亡数、死亡率の算定方法が、平成6年以前、平成7年以降で異なっている。

	死亡数	死亡率
平成6年以前	妊娠28週以後死産 ＋早期新生児	出生千対
平成7年以降	妊娠22週以後死産 ＋早期新生児	出産千対（出生＋妊 娠22週以後死産）

第12表 死亡数・死亡率（人口10万対）の対前年比較、死因（死因分類）別（1/3）

分類名	実数		率		平成29年死亡総数に占める割合(%)
	平成29年	平成28年	平成29年	平成28年	
総数	17,575	17,309	1,379.5	1,341.8	100.0
感染症及び寄生虫症	266	268	20.9	20.8	1.5
腸管感染症	27	25	2.1	1.9	0.2
結核	33	28	2.6	2.2	0.2
呼吸器結核	26	26	2.0	2.0	0.1
その他の結核	7	2	0.5	0.2	0.0
敗血症	110	132	8.6	10.2	0.6
ウイルス肝炎	44	40	3.5	3.1	0.3
B型ウイルス肝炎	3	2	0.2	0.2	0.0
C型ウイルス肝炎	38	34	3.0	2.6	0.2
その他のウイルス肝炎	3	4	0.2	0.3	0.0
ヒト免疫不全ウイルス〔HIV〕病	-	-	-	-	-
その他の感染症及び寄生虫症	52	43	4.1	3.3	0.3
新生物	5,149	5,183	404.2	401.8	29.3
悪性新生物	4,985	5,034	391.3	390.2	28.4
口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	95	114	7.5	8.8	0.5
食道の悪性新生物	152	145	11.9	11.2	0.9
胃の悪性新生物	627	617	49.2	47.8	3.6
結腸の悪性新生物	575	537	45.1	41.6	3.3
直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	231	260	18.1	20.2	1.3
肝及び肝内胆管の悪性新生物	326	362	25.6	28.1	1.9
胆のう及びその他の胆道の悪性新生物	317	307	24.9	23.8	1.8
膵の悪性新生物	459	454	36.0	35.2	2.6
喉頭の悪性新生物	17	17	1.3	1.3	0.1
気管、気管支及び肺の悪性新生物	899	923	70.6	71.6	5.1
皮膚の悪性新生物	22	28	1.7	2.2	0.1
乳房の悪性新生物	182	176	14.3	13.6	1.0
子宮の悪性新生物（注）	89	78	13.2	11.4	0.5
卵巣の悪性新生物（注）	81	70	12.0	10.2	0.5
前立腺の悪性新生物（注）	154	163	25.7	26.9	0.9
膀胱の悪性新生物	121	123	9.5	9.5	0.7
中枢神経系の悪性新生物	26	24	2.0	1.9	0.1
悪性リンパ腫	130	130	10.2	10.1	0.7
白血病	85	93	6.7	7.2	0.5
その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物	48	44	3.8	3.4	0.3
その他の悪性新生物	349	369	27.4	28.6	2.0
その他の新生物	164	149	12.9	11.6	0.9
中枢神経系のその他の新生物	36	32	2.8	2.5	0.2
中枢神経系を除くその他の新生物	128	117	10.0	9.1	0.7
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	45	54	3.5	4.2	0.3
貧血	23	31	1.8	2.4	0.1
その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	22	23	1.7	1.8	0.1
内分泌、栄養及び代謝疾患	341	315	26.8	24.4	1.9
糖尿病	243	220	19.1	17.1	1.4
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	98	95	7.7	7.4	0.6

※（注）の項目については、男女別の人口を用いている。

第12表 死亡数・死亡率（人口10万対）の対前年比較、死因（死因分類）別（2/3）

分類名	実数		率		平成29年死亡総数に占める割合(%)
	平成29年	平成28年	平成29年	平成28年	
精神及び行動の障害	362	260	28.4	20.2	2.1
血管性及び詳細不明の認知症	338	228	26.5	17.7	1.9
その他の精神及び行動の障害	24	32	1.9	2.5	0.1
神経系の疾患	642	390	50.4	30.2	3.7
髄膜炎	4	3	0.3	0.2	0.0
脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	35	29	2.7	2.2	0.2
パーキンソン病	89	66	7.0	5.1	0.5
アルツハイマー病	341	194	26.8	15.0	1.9
その他の神経系の疾患	173	98	13.6	7.6	1.0
眼及び付属器の疾患	-	-	-	-	-
耳及び乳様突起の疾患	-	-	-	-	-
循環器系の疾患	4,754	4,600	373.2	356.6	27.0
高血圧性疾患	103	68	8.1	5.3	0.6
高血圧性心疾患及び心腎疾患	63	32	4.9	2.5	0.4
その他の高血圧性疾患	40	36	3.1	2.8	0.2
心疾患（高血圧性を除く）	2,607	2,568	204.6	199.1	14.8
慢性リウマチ性心疾患	27	31	2.1	2.4	0.2
急性心筋梗塞	429	504	33.7	39.1	2.4
その他の虚血性心疾患	211	254	16.6	19.7	1.2
慢性非リウマチ性心内膜疾患	126	108	9.9	8.4	0.7
心筋症	56	38	4.4	2.9	0.3
不整脈及び伝導障害	567	608	44.5	47.1	3.2
心不全	1,156	989	90.7	76.7	6.6
その他の心疾患	35	36	2.7	2.8	0.2
脳血管疾患	1,702	1,610	133.6	124.8	9.7
くも膜下出血	168	164	13.2	12.7	1.0
脳内出血	411	446	32.3	34.6	2.3
脳梗塞	1,085	966	85.2	74.9	6.2
その他の脳血管疾患	38	34	3.0	2.6	0.2
大動脈瘤及び解離	252	258	19.8	20.0	1.4
その他の循環器系の疾患	90	96	7.1	7.4	0.5
呼吸器系の疾患	2,285	2,610	179.4	202.3	13.0
インフルエンザ	31	12	2.4	0.9	0.2
肺炎	1,408	1,759	110.5	136.4	8.0
急性気管支炎	4	8	0.3	0.6	0.0
慢性閉塞性肺疾患	193	169	15.1	13.1	1.1
喘息	24	14	1.9	1.1	0.1
その他の呼吸器系の疾患	625	648	49.1	50.2	3.6
誤嚥性肺炎	240	...	18.8	...	1.4
間質性肺疾患	196	...	15.4	...	1.1
その他の呼吸器系の疾患	189	...	14.8	...	1.1
消化器系の疾患	625	629	49.1	48.8	3.6
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	36	31	2.8	2.4	0.2
ヘルニア及び腸閉塞	101	119	7.9	9.2	0.6
肝疾患	197	206	15.5	16.0	1.1
肝硬変（アルコール性を除く）	95	103	7.5	8.0	0.5
その他の肝疾患	102	103	8.0	8.0	0.6
その他の消化器系の疾患	291	273	22.8	21.2	1.7

※（注）の項目については、男女別の人口を用いている。

第12表 死亡数・死亡率（人口10万対）の対前年比較、死因（死因分類）別 （3/3）

分類名	実数		率		平成29年死亡総数に占める割合(%)
	平成29年	平成28年	平成29年	平成28年	
皮膚及び皮下組織の疾患	29	20	2.3	1.6	0.2
筋骨格系及び結合組織の疾患	72	54	5.7	4.2	0.4
腎尿路性器系の疾患	524	615	41.1	47.7	3.0
糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	70	83	5.5	6.4	0.4
腎不全	376	416	29.5	32.2	2.1
急性腎不全	43	50	3.4	3.9	0.2
慢性腎不全	272	271	21.4	21.0	1.5
詳細不明の腎不全	61	95	4.8	7.4	0.3
その他の腎尿路生殖器系の疾患	78	116	6.1	9.0	0.4
妊娠，分娩及び産じょく(注)	-	1	-	0.1	-
周産期に発生した病態	6	6	0.5	0.5	0.0
妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	4	2	0.3	0.2	0.0
出産外傷	-	-	-	-	-
周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	2	1	0.2	0.1	0.0
周産期に特異的な感染症	-	-	-	-	-
胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	-	3	-	0.2	-
その他の周産期に発生した病態	-	-	-	-	-
先天奇形，変形及び染色体異常	28	17	2.2	1.3	0.2
神経系の先天奇形	2	-	0.2	-	0.0
循環器系の先天奇形	14	8	1.1	0.6	0.1
心臓の先天奇形	11	6	0.9	0.5	0.1
その他の循環器系の先天奇形	3	2	0.2	0.2	0.0
消化器系の先天奇形	1	-	0.1	-	0.0
その他の先天奇形及び変形	5	6	0.4	0.5	0.0
染色体異常，他に分類されないもの	6	3	0.5	0.2	0.0
症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,551	1,428	121.7	110.7	8.8
老衰	1,188	1,122	93.2	87.0	6.8
乳幼児突然死症候群	1	-	0.1	0.0	0.0
その他の症状，徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	362	306	28.4	23.7	2.1
傷病及び死亡の外因	896	859	70.3	66.6	5.1
不慮の事故	563	539	44.2	41.8	3.2
交通事故	65	77	5.1	6.0	0.4
転倒・転落	113	79	8.9	6.1	0.6
不慮の溺死及び溺水	114	119	8.9	9.2	0.6
不慮の窒息	121	142	9.5	11.0	0.7
煙，火及び火炎への曝露	13	23	1.0	1.8	0.1
有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	10	7	0.8	0.5	0.1
その他の不慮の事故	127	92	10.0	7.1	0.7
自殺	265	271	20.8	21.0	1.5
他殺	3	4	0.2	0.3	0.0
その他の外因	65	45	5.1	3.5	0.4
特殊目的用コード	-	-	-	-	-
重症急性呼吸器症候群（SARS）	-	-	-	-	-

※（注）の項目については、男女別の人口を用いている。

【問い合わせ先】

項 目	該当ページ	担 当 課	連 絡 先
出 生	6,7	こどもみらい課 子育て支援グループ	(直通) 017-734-9301 (内線) 6301
死 亡	三大死因による死亡	8~10 がん・生活習慣病対策課 がん対策推進グループ	(直通) 017-734-9216 (内線) 6342
	自殺による死亡	10,11 障害福祉課 障害企画・精神保健グループ	(直通) 017-734-9307 (内線) 6321
	乳児・新生児死亡	12,13 こどもみらい課 家庭支援グループ	(直通) 017-734-9303 (内線) 6307
	周産期死亡	12,13 医療薬務課 地域医療確保グループ こどもみらい課 家庭支援グループ	(直通) 017-734-9287 (内線) 6244 (直通) 017-734-9303 (内線) 6307
婚 姻	14	こどもみらい課 子育て支援グループ	(直通) 017-734-9301 (内線) 6301
その他数値に関すること		健康福祉政策課 企画政策グループ	(直通) 017-734-9277 (内線) 6215